

## 平成27年度入学式 校長式辞

島根県立松江南高等学校  
校長 長野 博



矢の原の高台に新春の風湧き、遠く宍道湖の碧水に陽光映える季節となりました。「万物（ばんぶつ）発して清浄明潔（しょうじょうめいけつ）なれば、此芽（このめ）は何の草としれるなり」。二十四節気の清明は、道ばたに芽吹き始めた草の芽が何の芽かわかる季節であることを意味しており、まさに今日の良き日を表しています。

本日、このように多くの保護者の皆様のご出席のもと、平成27年度入学式をかくも盛大に挙行できますことは、私ども教職員一同大きな喜びとするところであります。

また、塩治隆彦PTA会長様をはじめといたしまして、多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜りましたことに、高いところからではございますが、深く感謝申し上げます。

只今、入学を許可しました、311名の新入生の皆さん、松江南高等学校へのご入学、誠におめでとうございませぬ。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は昭和36年に松江高等学校を二分する形で設立されました。創造進取の気に満ちながら、質実剛健を掲げる校風は本校の誇りとするところであり、今年度、創立55周年を迎える伝統校です。この間2万人余りの卒業生を輩出し、実に多くの方々が県内外で活躍しておられます。

新入生の皆さんには、この本校の伝統を受け継ぎ、一方で新たな息吹を吹き込んでくれるものと期待しており、ここで皆さんの入学にあたり、私から三つのお願いをします。

まず一つ目は、「礼節を尊ぶ人」に育ってほしいということです。

礼儀正しく節度を守る、これは全ての社会生活の基本である、人を大切にすることという他にありません。皆さんがどんな立派なことを成そうとしても、唯我独尊からは真の成就是ありません。社会生活をしていく上で、他人との良好なコミュニケーションは欠かせませぬし、その良好な関係は相手を大切にすることから始まります。将来、皆さんがどのような立場になっても、この姿勢は忘れずに持ち続けてほしいのです。

二つ目は「ものの理（ことわり）を考える人、正義を考える人」に育ってほしいということです。

社会では自分の力で判断しなければならないことが数多くあります。些細なものから大きな責任を伴うものまで様々です。時間をかけて判断できるものもあれば、瞬時に判断しなければならないものもあります。しかし、たとえ瞬時に判断したことであっても、その結果については自分自身で責任を負わねばなりません。だからこそ自分自身の素養を高めておくのです。今問われていることは何か、何が真理で何が正しいのか、どのような筋道で物事を考えれば良いのか、そういうことを高校生の時から考えてほしいのです。

三つ目は「日本や世界に目を向け、日本の将来、世界の将来を語る人」に育ってほしいということです。

今、日本は復興とエネルギー問題という喫緊の大きな課題の他、経済問題や少子高齢時代における地域の問題、医療や福祉の問題など、多くの課題を抱えています。また世界に目を向けても、近隣諸国との軋轢や国際経済の問題など、民族や文化の違い、地理的、歴史的な要因などから、これも多くの課題を抱えています。そしてその一方で我々は日本という国の将来や日本人としてのあり方について真剣に考える責務を与えられています。我々大人達は、皆さんのような若い世代のために一つ一つの問題を解決しようと努力していますが、一方で新たな問題の解決を皆さんに託そうとしています。国では選挙権年齢の引き下げについても議論されていますが、国政や地方行政に関わる権利と義務、責任を皆さんは若くして負うこととなります。どうか視野を広くし、高い意識で世の中を見つめてください。

以上が私からのお願いです。一つ目の「礼節」については、人を大切にすることにより、結果として自分自身を大切にすることに繋がります。また、二つ目の「理と正義」についても、最後は自分自身の生き方を考えることに繋がります。さらに三つ目の「日本や世界に目を向ける」ことも、最後は皆さんの住んでいる地域、そしてこの島根を考えることに繋がります。

本校の教職員は授業だけでなく、様々な場面で皆さんに語りかけてくれます。教職員だけでなく上級生や、地域の方々からも多くの語りかけがあることでしょう。良く聞いて、様々に思いを巡らせてください。皆さんが多くの示唆を得ながら、やがてくる実りの時期までに大きく成長されることを期待しています。

新入生の保護者の皆様、この度は誠にめでたうございませぬ。皆様の大切なお子様を我々に預けていただいたことを心から感謝いたします。また、同時にとても大きな責任を感じていますが、我々松江南高校の教職員は互いに協力しながら、一丸となって皆様のご期待に添うよう努力して参ります。

申すまでもなく、教育の推進には、学校、家庭、地域社会の三者の協力が必要です。とりわけ、お子様一人ひとりの健やかな成長のためには、学校・家庭の相互の信頼関係こそが最も大切なものと考えております。どうか本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力を賜りますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さんの三年間の高校生活が楽しく、実り多きものになることを心から祈念し式辞といたします。